

2024年5月20日発行

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川イグレンニュース〈第241号〉

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集：事務局長 愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町580 神奈川中小企業センタービル7F

TEL/FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

（目次）

- 第56回日韓経済人会議概要 (1頁)
- 第68回海老名サロン (3頁)

「中小企業の新製品開発のための失敗分析方法の提案」

株式会社LDD 代表取締役 岡田 俊 氏

5月24日（金）15時～17時

神奈川中小企業センター6階大研修室

- 第104回西湘サロン (4頁)

「中東における日本食市場」

行政書士（元農林水産省）反町 俊哉氏

7月8日（月）午後6時30分～8時00分（開場6時）

おだわら市民交流センター**UMECO**

1. 第56回日韓経済人会議 概要

- 1.5/14-15 東京 ホテルオークラ プレステージタワーで開催(日本側主催)
6年ぶりに東京で対面による日韓経済人会議が開催された
日本側 110名、韓国側 107名 計 217名参加
- 2.両国主催者団長
日本側 佐々木幹夫 日韓経協会長、韓国側 金 鈞 韓日経協会長
- 3.来賓あいさつ
日本側 菅義偉 日韓議員連盟会長
韓国側 尹徳敏 大韓民国特命全権大使
- 4.第1セッション「経済連携・協力の拡大」、第2セッション「幅広く多様な交流の実現」
- 5.会議要旨
- 1.今回のテーマ「未来へと続く日韓パートナーシップ」
 - 2.日韓は競争関係にあると同時に補完関係にあり、最良の連携相手である
 - 3.相乗効果を生み出す具体的な協力を通じ、持続可能な未来を作り出す
 - 4.共同声明概要
サプライチェーン構築と共同資源開発、半導体、ディスプレイ、DX・GX、水素などの新産業分野やスタートアップ育成で協力
来年、国交正常化60周年を迎え、両国政府の新たなパートナーシップ宣言を期待

1

2. 会議日程 (5/14-15)

		会 議 内 容
5/14	14:30	開会式 (開会、両国団長挨拶) 日本側団長: 佐々木幹夫 (一社)日韓経済協会会長 韓国側団長: 金 鈞 (社)韓日経済協会会長
	15:00	来賓挨拶 1.日本側 菅義偉 日韓議員連盟会長 2.韓国側 尹徳敏 駐日本大韓民国大使館 特命全権大使 協会活動一般経過報告
	15:15 16:15	基調講演 (日本側1件、韓国側1件発表) 1.日本側 森健良 前外務事務次官 2.韓国側 崔泰源 大韓商工会議所会長・SKグループ会長 レセプション
5/15	9:00 9:20	日韓新産業貿易会議の報告・提言麻生泰 (麻生セメント代表取締役会長、李仁浩 (韓国貿易協会副会長) 第1セッション 発表主題「経済連携・協力の拡大」(日本側2件、韓国側2件発表) (1.成瀬正治 ホテルオークラ代表取締役会長、2.李相晋 韓国ディスプレイ産業協会常務理事 3.金子知裕 中小企業基盤整備機構理事、4.金洋膨 産業研究院新産業室 専門研究員)
	13:30	第2セッション 発表主題「幅広く多様な交流の実現」(日本2件、韓国側2件発表) (1.小針 進 静岡県立大学教授、2.朴盛彬 亞洲大学校国際学部教授 3.立谷 光太郎 博報堂顧問、4.李卿準 韓国ロボット産業協会事務局長)
	16:00 16:30	閉会式 (共同声明採択、両国団長挨拶) 閉会 (閉会、共同記者会見)

2

3. 共同声明 概要

1. 経済連携・協力の拡大

日韓の経済連携において一体となったサプライチェーンの構築、共同での資源開発、半導体、ディスプレイ、DX・GXなど新産業分野における協力に加え、スタートアップなどの育成が共通の課題があり、日韓の経済人の相互の連携・協力を通じて解決・実現をめざす

2. 幅広く多様な交流の実現

両国関係の改善が進み、相互の往来増加、相互の食・文化を楽しむ場面が増え、日韓の連携を未来につなぐべくお互いの関心、好感度が一層高まることが重要、日韓の経済人は次世代、文化、地域間など各種交流について積極的に支援、貢献する

3. 政府への期待

日韓国交正常化60周年の節目を活かし、両国の友好協力関係を一層発展させることをめざした新たなパートナーシップが宣言されることを期待

第57回日韓経済人会議を 2025年韓国で開催（日韓国交正常化60周年）

3

* 「日韓経済人会議概要」は、「日韓ビジネス協議会」よりご提供いただきました。

政治的利害関係や民族対立を煽るような社会的状況がある中で、貿易等の互恵的経済関係が深い両国の健全な関係回復を両国の経済人のイニシャティブによって推進されることを大いに期待したいものです。

円安、「売上高にマイナス」35%、「利益にマイナス」63.9%、
「売上高・利益ともにマイナス」30%超。110円～120円台が
適正 （帝国データバンク）

第68回海老名サロン

日時 2024年5月24日(金) 午後2時50分より

会場 神奈川中小企業6階大研修室

主催 神奈川県異業種連携協議会

「中小企業の新製品開発のための失敗分析方法の提案」

株式会社LDD 代表取締役 岡田 俊 氏

新製品の開発は中小企業の事業展開にとっても重要な課題です。しかし、開発資源の制約や開発への的確なアプローチ方法等の課題で上手くいかない場合があります。上手くいかないときに真の原因を掴まないと再発につながります。しかし、原因究明に現状の品質手法を使用するには、難しい場合があります。そのため、いつも自分たちが使用するやり方を用いて、容易に原因究明する方法を紹介します。

1. 中小企業における新製品開発の現状 — なぜ開発が少ないか。
2. 失敗分析の重要性と失敗原因分析方法の提案
— 事例を基に失敗原因を系統的に抽出する方法—
3. 提案の方法が中小企業に適している理由
 - ・ 開発事例が少なくても分析ができる
 - ・ 使用する分析方法は開発フローのため使いやすい
4. 株式会社LDDの業務 — 中小企業のための失敗分析方法の提案

参加費(資料費等) 1,000円 交流会 4,000円

出席 ア サロン出席 イ 交流会出席 (○をご記入ください)

(氏名・所属・TEL・email等)

(連絡・参加申し込み) 愛 070-4478-1902

E-mail aikenji1024@gmail.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」

第 104 回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

【日時】：2024年7月8日（月） 午後6時30分～8時00分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センターUMECO (TEL:0465-24-6611)
JR小田原駅東口より徒歩約2分です。

【会費】：参加費 500円（当日）

1. 話題：「中東における日本食市場」

行政書士（元農林水産省）反町 俊哉氏

中東諸国は、石油の産出されるお金持ちの国で、かつイスラム教の厳しい戒律に基づく生活をしているとのイメージがあります。このような国での日本食の需要はイメージがつきにくいと思います。そこで、反町さんにUAE日本食の普及に努めた経験をお話しさせていただきます。

（反町氏プロフィール：1987年農林水産省入省、主に園芸作物生産・流通関係の業務に携わり、2019年より2022年までUAEに赴任、2023年定年退職）

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。3人以上で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込

E-mail yoshiike@maple.ocn.ne.jp

吉池

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()
メールアドレス			